

# ホームステイ

大中山中学校 2年 菅又めぐみ

今回アメリカに行くまでは、私にとってアメリカとは、飛行機は約1日、言葉はちがうということで、「自分には程遠い存在」でした。でも、今回実際に行ってみたら、そんな事はありませんでした。

コンコードに着いて、私のホストファミリーの Miller 一家(レベッカ 17歳 & ファザー)に会いました。マザーは家に居るようです。車で移動中、ファザーに「いつ日本を



☆泊まった部屋☆

出発したの？」と英語でいきなり聞かれ、私はかなりパニックになりました((oДo;))ッが、カタコトで答えました。ちなみにこの会話が記念すべきアメリカ人との会話デビューです

(\*≥艹≤)家はとっても大きく、部屋にはバスルームもついていてホテルに来た感じでした。

朝は毎日5時55分にセットした目覚ましで起床。初日は特に時差ボケもなくスッキリ起きることができました。用意を済まし、ダイニングに向かうと…マザーが毎日読書しています。(アメリカのお母さんはのんびりだな～)と思った一面でした。朝ごはんは、焼いたベーグルの半分にバターをぬって食べたり、小さなパンケーキ2枚だけなど、お腹がすきました(・\_・;)私のイメージでは、トースト2枚、ベーコンエッグ、スープ etc…とにかく食べきれないのではないかと心配したくらいでした。飲み物は決まってオレンジジュース。このオレンジジュースは、実がたくさん浮いていて、甘く、本物を食べているようでした(\*´▽`)私のお気に入りの一品です。ω^ω^ω☆

CCHS(コンコードカーライルハイスクール)へは、マザーの車で☆まずバンドルームに行き一緒にいった日本人と、少しお話をします。これで毎日言葉のありがたみを実感します。授業は7時30分から始まるので教室へ移動します。校内は広く、みんな急ぎ足で行くので、のみこまれながらもなんとかついていきました。その教室に着くまで5分くらいはかかったと思います。着くと私はいつもいきが上がっています。

♪・・・毎日の授業・・・♪

1時間目は“アメリカンヒストリー”で、ちょうどアメリカ大統領選挙の時期で、少しその話をしていました。2時間目は“数学”で、もう日本で勉強済みのところを勉強していました。3時間目は“音楽”で、楽器を使って部活のような練習をしていました。4時間目は“英語”で、国語でいう古典のような、古い英語で話している映画を観ました。お昼休みは1時間半あります。昼食は普通カフェテリアで買って食べます。しかしレベッカはいつも仲良しのエミリーと芝生の上でお弁当を食べます。5時間目は“理科”で、調べ学習なのかワイヤレスのノートパソコンで調べながら勉強していました。

と、こんな感じです。初日はどの教科も全部英語だし、初めてで緊張ばかりしていたけど、2日目からは、自分でも出来そうな数学には積極的に授業に参加しました。

すると先生からぶ厚い教科書を渡され、正直困りました(・・;)一応訳してから持っている知識と頭脳で頑張りました☆

廊下でレベッカの友達に会うと、みんな優しく話しかけてくれたので、(言葉はちがっても人はみんな同じだ~☆)と嬉しくなりました(\*^0^\*)

初日は何もわからなくて、ただ存在しているだけでした。でも、2日目からはだんだんわかってきて、いろいろな事を考えるようになりました。例えば、アメリカの学校制度、アメリカの衣食住、日本とのちがい、日本のこと…。日本のことを考えていると、「みんな今何してるのかなあ」「日本は今夜中かあ。夜中にアメリカの学校でこんな事しちゃってるよw」など、余計なことまで考えてしまいます。すると、日本が恋しくてたまらなくなりました。いわゆる“ホームシック”ってやつです(笑)今ではそれもいい思い出となっています☆

学校は2時過ぎに終わります。その後が部活の時間です。レベッカは家に帰って宿題をします。その間、私は部屋で一人ぼっち(泣)暇すぎてきずいたら寝ていました。

夕食は、チーズピザやエビ、野菜、果物など、とても体に良いものばかりでした。私は日本から持っていった「うどん」をごちそうしました。その時に、「いただきます」「ごちそうさま」と、持っていった割り箸で箸の使い方も教えてきました。挨拶はすぐに覚えてくれたけど、箸はなかなか難しかったようです。最後には使えるようになったので嬉しかったです。最終日2日前には私が用意していた手紙を読んで感謝の意を述べました。そして、ホームステイ最後の夜、ファザーの大好きなお寿司屋さんに行きました。そこは、日本でも入ったことの無い高級な店でした(\*´卍`)その帰りに、ボーリングに行きました。ボーリングの球は日本よりはるかに小さく、ルールも多少違いました。あまりに球が小さくて(日本とアメリカの球、交換したほうが…)と思うほどでした。

そんな楽しい日々も束の間。あっという間にコンコード出発の朝になりました。早起きして、忘れ物はないか何度も確認したり、コンコードの空気を忘れないように何回も深呼吸しました。家を出るときマザーが、手紙と大きな袋いっぱいのお菓子をくれました。とっても嬉しかったです(;A;)ファザーの車で集合場所へ。何もかもが最後なのだと思うと寂しかったです。別れ際、

「I miss you.」と言われジーンときちゃったうえに、みんな泣いててもらい泣きしてしまいました。

私は“地球は小さい。”と思いました。飛行機は約1日、長いかもしれないけど、逆に約1日乗っただけでアメリカに着く。と考えられるようになりました。そして、言葉の通じる喜び、人情など、さまざまな事を学び、考えさせられました。今回の経験をいかし、これからの人生に役立てます。



お別れの写真